

エコアクション21

# 環境活動レポート

2015 年度版

[ 2015 年 3 月～2016 年 2 月 ]

1. 環境方針
2. 組織概要等（対象範囲含む）
3. 環境目標とその実績評価
4. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価
5. 次年度への取組
6. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無
7. 代表者による全体評価と見直しの結果

株式会社 共益・商会

平成 28 年 6 月 8 日 発行

# 環 境 方 針

共益・商会の基本理念にもあるとおり、地域の皆様、お取引先、従業員が三位一体となり、古紙やその他の再生資源の回収に尽力することをお約束いたします。

また、創業 100 周年に向け、会社運営の改善、合理化を行い、経営基盤を強化し、近い将来起こりうる不測の事態に対応できるようにいたします。

効率的な資源回収を通じて、生活環境の保護、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

- ・環境関連法規を順守いたします。
- ・二酸化炭素排出量削減に努めます。
  - 収集経路の効率化に自動車燃料の削減を図ります。
- ・廃棄物排出量の削減
  - 選別強化により廃棄物量を削減します。
- ・用水使用量の削減
  - 水使用量の削減に努めます。
- ・グリーン購入の拡大、推進
  - 物品購入に当っては、再生品、グリーンマーク商品、エコマーク商品の購入に可能な限り努めます。
- ・安全・防災の取り組みに努め、従業員の教育・訓練を行います。
- ・地域の環境イベントに参加します。

制定年月日 平成 19 年 08 月 28 日

改定年月日 平成 27 年 06 月 03 日

株式会社 共益商会  
代表取締役 赤染 清康

## 2. 組織の概要等

### 1) 組織の概要

事業所名及び代表者

株式会社 共益商会 代表取締役社長 赤染清康

### (1) 認証登録範囲及び所在地

本社 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-8-11

電話 03-3763-9431 / Fax 03-3763-9435

品川営業所 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-8-11

電話 03-3763-1406 / Fax 03-3763-1408

横浜営業所 〒222-0037 神奈川県横浜市港北区大倉山 6-1-11

電話 045-546-1611 / Fax 045-546-1614

### (2) 環境管理責任者・担当者連絡先

環境管理責任者 岡田重明 連絡先 電話 03-3763-9431

担当者（本社） 正木ひとみ 連絡先 電話 03-3763-9431

（品川営業所） 西田貴明 連絡先 電話 03-3763-1406

（横浜営業所） 中村正実 連絡先 電話 045-546-1611

### (3) 法人設立年月日

昭和 26 年 11 月 14 日

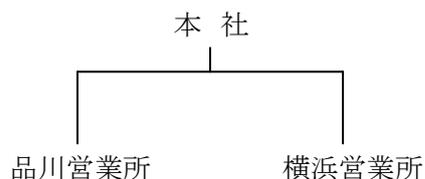
### (4) 資本金

5,000 万円

### (5) 処理量

45,277 トン （2015 年度）

### (6) 組織図（対象範囲）



(7) 事業活動の概要

本 社	古紙リサイクル業の管理、営業
品川営業所	古紙回収、運搬、圧縮、梱包、出荷、営業
横浜営業所	古紙回収、運搬、圧縮、梱包、出荷、営業

2) 許可・登録の内容

① 廃棄物再生事業者登録(東京都)

登録番号 第 105 号

登録年月日 平成7年 4 月 10 日

② 廃棄物再生事業者登録(神奈川)

登録番号 第 G279 号

登録年月日 平成 21 年 6 月 12 日

③ 東京都産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 13-00-111127

許可年月日 平成 26 年 7 月 26 日

許可の有効年月日 平成 31 年 7 月 25 日

④ 神奈川県産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 1400111127

許可年月日 平成 26 年 4 月 28 日

許可の有効年月日 平成 31 年 4 月 27 日

\*③④の事業の区分

収集・運搬(保管・積替えを除く)、ガラス、コンクリート、陶磁器屑、がれき類

⑤ 静岡県富士保健所産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 2201111127

許可年月日 平成 16 年 6 月 18 日

許可の有効年月日 平成 30 年 6 月 17 日

\*⑤の事業の区分 収集・運搬(保管・積替えを除く)

廃棄物の種類、廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず

\*③～⑤について産業廃棄物収集運搬の許可を受けていますが、実績が無く、情報公開項目に関する情報は有りません。

⑥ 産業廃棄物中間処理施設技術管理士 認定番号 042406

⑦ 全国製紙原料商工組合連合会認定資格

古紙商品化適格事業所

古紙リサイクルアドバイザー

3) 事業の規模・施設等の状況

- 本 社 ① 従業員数 8 名  
② 事業所延べ床面積(品川営業所に含む)  
③ 車 両  
ウ 営業車両

ハイブリッド乗用車 1 台  
合計 1 台

- 品川営業所 ① 従業員数 17 名  
② 事業所敷地面積 1056.45 m<sup>2</sup>  
述べ床面積 889.37 m<sup>2</sup>  
③ 車 両

ア, 運搬車両の種類・台数

4.0t パッカー車	2 台	3.0t パッカー車	1 台
2.0t パッカー車	1 台	2.0t ダンプ	1 台
2.0t トラック	3 台	箱車	1 台

計 9 台

イ 作業車両

1.0tフォークリフト	1 台
2.5tフォークリフト	1 台
4.0tフォークリフト	1 台

計 3 台

ウ 営業車両

軽自動車	1 台
ハイブリッド乗用車	1 台

計 2 台

合計 14 台

- ④ 主要設備 大型高速古紙梱包機 1 台(200 馬力)

- 横浜営業所 ① 従業員数 18 名  
② 事業所敷地面積 2,247.46 m<sup>2</sup>  
述べ床面積 1,378.2 m<sup>2</sup>

③ 車 両

ア, 運搬車両の種類・台数

4.0t パッカー車	3 台	3.0tトラック	3 台
2.0t トラック	5 台	4.0t ダンプ	1 台
計 12 台			

イ, 作業車両

フォークリフト	4 台		
クランプフォークリフト	2 台		
パワーショベル	1 台		
計 7 台			

ウ, 営業車

軽自動車	1 台		
社用車	1 台		
計 2 台			

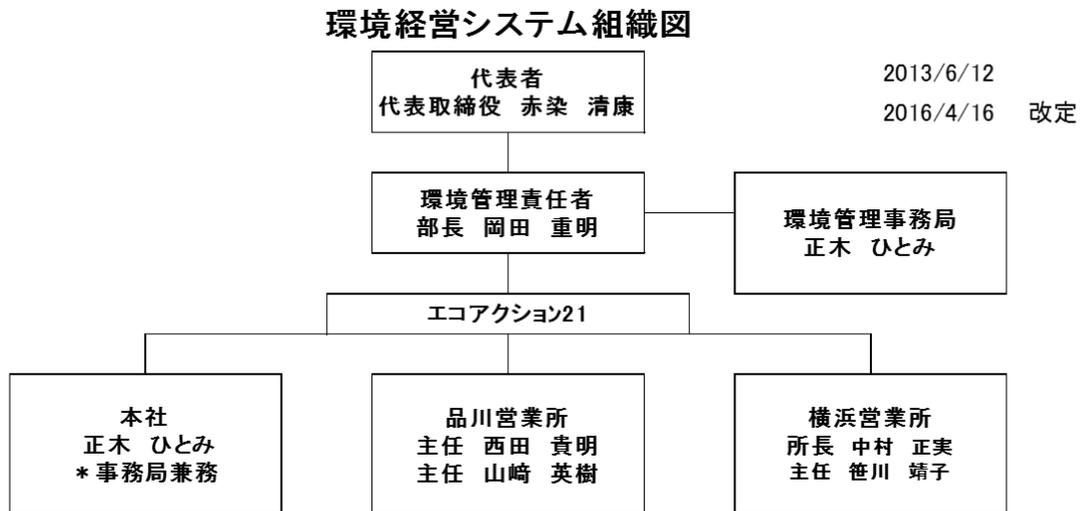
合計 22 台

④ 主要設備

大型高速古紙梱包機 2台(150馬力1台、200馬力1台)

4) 廃棄物処理料金:見積書による。

## 環境経営システム組織図



### 環境経営システム組織図

役職	責任および権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇環境管理責任者の任命</li> <li>◇環境方針の策定</li> <li>◇全体の評価と見直し、改善の指示</li> <li>◇経営資源の投入</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇環境経営システムの運用総責任者</li> <li>◇環境事務局の運営、管理</li> <li>◇エコアクション21</li> <li>◇社長への進捗状況の報告・連絡・相談</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇環境管理責任者の補佐</li> <li>◇各種記録、帳票の取りまとめ、保管管理</li> <li>◇システムの運用管理補助</li> </ul>
各部署	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各種計画の実施運用、教育訓練、環境管理責任者への報告・連絡・相談</li> <li>◇実施状況のチェック</li> <li>◇問題点の発見、報告、是正、予防処置の実施</li> </ul>

### 3. 環境目標とその実績評価

#### 中期環境目標 実績と評価

本社

期間(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

環境目標	基準年度:2011年度 (2010年3月～2011年2月)	目標(対基準年):毎年0.3%ずつ削減			実績	
		2015年度 (2015年3月～2016年2月)	2016年度 (2016年3月～2017年2月)	2017年度 (2017年3月～2018年2月)	2015年度 (2015年3月～2016年2月)	
Co2 削減 単位:Kg-Co2 (原単位)	8,977.4 1.13	0.1% 削減 8,968.4 1.30	0.2% 削減 8,959.4 1.30	0.3% 削減 8,950.5 1.29	0.1% 削減 3,883.0 0.49	評価 ○
電力消費量削減 単位:kWh (原単位)	0 0.00	0.1% 削減 0 0.00	0.2% 削減 0 0.00	0.3% 削減 0 0.00	0.1% 削減 0.0 0.00	評価 -
ガソリン消費量削減 単位:リットル (原単位)	3,834.14 0.484	0.1% 削減 3,830.3 0.554	0.2% 削減 3,826.5 0.553	0.3% 削減 3,822.6 0.553	0.1% 削減 1,648.0 0.21	評価 ○
軽油消費量削減 単位:リットル (原単位)	0 0.00	0.1% 削減 0 0.00	0.2% 削減 0 0.00	0.3% 削減 0 0.00	0.1% 削減 0.0 0.00	評価 -
LPG消費量削減 単位:m <sup>3</sup> (原単位)	0 0.00	0.1% 削減 0 0.00	0.2% 削減 0 0.00	0.3% 削減 0 0.00	0.1% 削減 0.0 0.00	評価 -
廃棄物削減 単位:Kg (原単位)	1,200 0.00015	0.1% 削減 1,199 0.00017	0.2% 削減 1,198 0.00017	0.3% 削減 1,196 0.00017	0.1% 削減 1,500 0.00019	評価 ×
水道使用量削減 単位:m <sup>3</sup> (原単位)	0 0.00	0.1% 削減 0 0.00	0.2% 削減 0 0.00	0.3% 削減 0 0.00	0.1% 削減 0.0 0.00	評価 -
グリーン購入推進	0 0.00	0.1% 増加 0.000 0.00000	0.2% 増加 0.000 0.00000	0.3% 増加 0.000 0.00000	0.1% 増加 12.0 0.00	評価 ○

(原単位=使用量/年間処理量) 2011年度 6,918 トン 2015年度 7,928 トン

\* 平成19年度に東京電力から提出された資料に基づき、確認しました0.425にて算定

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10574>

#### 総評

\* Co2、ガソリン使用量削減は去年同様目標達成出来た。

\* 廃棄物削減はまだ改善の余地があるので社内全体でゴミへの関心を高め削減を目指す。

\* グリーン購入推進は今年もまた社内体制が整っておらず(グリーンマーク商品の価格が高いため)今年も導入する事が出来なかった。ただ、社内にグリーンを増やす運動は行っており観葉植物を増やしている。

## 中期環境目標 実績と評価

品川営業所

期間(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

環境目標	基準年度:2011年度 (2010年3月～2011年2月)	目標(対基準年):毎年0.3%ずつ削減			実績	
		2015年度 (2015年3月～2016年2月)	2016年度 (2016年3月～2017年2月)	2017年度 (2017年3月～2018年2月)	2015年度 (2015年3月～2016年2月)	
CO2 削減 単位:Kg-CO2 (原単位)	189,813.8 12.59	0.1% 削減 189,624.0 12.41	0.2% 削減 189,434.2 12.40	0.3% 削減 189,244.4 12.39	0.1% 削減 236,424.0 15.69	評価 ×
電力消費量削減 単位:kWh (原単位)	192,654.0 12.78	0.1% 削減 192,461.3 12.60	0.2% 削減 192,268.7 12.59	0.3% 削減 192,076.0 12.57	0.1% 削減 247,366.0 16.41	評価 ×
ガソリン消費量削減 単位:リットル (原単位)	563.78 0.037	0.1% 削減 563.2 0.037	0.2% 削減 562.7 0.037	0.3% 削減 562.1 0.037	0.1% 削減 3,257.0 0.2161	評価 ×
軽油消費量削減 単位:リットル (原単位)	38,178.9 2.53	0.1% 削減 38,140.7 2.50	0.2% 削減 38,102.5 2.49	0.3% 削減 38,064.3 2.49	0.1% 削減 41,534.0 2.76	評価 ×
LPG消費量削減 単位:m <sup>3</sup> (原単位)	2,125.0 0.14	0.1% 削減 2,122.9 0.14	0.2% 削減 2,120.8 0.14	0.3% 削減 2,118.6 0.14	0.1% 削減 4,881.0 0.32	評価 ×
廃棄物削減 単位:Kg (原単位)	20,360.0 1.35	0.1% 削減 20,339.6 1.33	0.2% 削減 20,319.3 1.33	0.3% 削減 20,298.9 1.33	0.1% 削減 8,280 0.55	評価 ○
水道使用量削減 単位:m <sup>3</sup> (原単位)	404.0 0.027	0.1% 削減 403.6 0.026	0.2% 削減 403.2 0.026	0.3% 削減 402.8 0.026	0.1% 削減 543.0 0.036	評価 ×
グリーン購入推進	0 0.00	0.1% 増加 0.000 0.00000	0.2% 増加 0.000 0.00000	0.3% 増加 0.000 0.00000	0.1% 増加 12.0 0.00	評価 ○

(原単位=使用量/年間処理量)      2011年度 15,277 トン      2015年度 15,072 トン

\* 平成19年度に東京電力から提出された資料に基づき、確認しました0.425にて算定

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10574>

### 総評

- \* 電気・CO2の削減、ガソリン・軽油の使用量、LPGの消費量すべての項目で目標の達成が出来なかった。
- 理由としては全体的に去年より物の発生量が増えて古紙圧縮梱包機・車・フォークリフトの稼働が上がった為。
- \* 水道使用量も同じ理由で発生量が増え古紙の飛散防止の為に一日に何回の水を撒くからではないかと推測される。
- また、各車両に担当を作りメンテナンス(洗車等)をしているのでそれによって水道料が上がったとも考えられる。
- いずれにせよ、各自節水を意識し来年度の課題とする。
- \* 産廃については去年同様目標を達成する事が出来た。

## 中期環境目標 実績と評価

横浜営業所

期間(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

環境目標	基準年度:2011年度 (2010年3月～2011年2月)	目標(対基準年):毎年0.3%ずつ削減			実績	
		2015年度 (2015年3月～2016年2月)	2016年度 (2016年3月～2017年2月)	2017年度 (2017年3月～2016年2月)	2015年度 (2015年3月～2016年2月)	
Co2 削減 単位:Kg-Co2 (原単位)	334,546.1 14.84	0.1% 削減 334,211.6 14.22	0.2% 削減 333,877.0 14.20	0.3% 削減 333,542.5 14.19	0.1% 削減 329,148.0 14.60	評価 ○
電力消費量削減 単位:kWh (原単位)	350,424.0 15.54	0.1% 削減 350,073.6 14.89	0.2% 削減 349,723.2 14.88	0.3% 削減 349,372.7 14.86	0.1% 削減 245,456.0 10.89	評価 ○
ガソリン消費量削減 単位:リットル (原単位)	0 0.00	0.1% 削減 0.0 0.00	0.2% 削減 0.0 0.00	0.3% 削減 0.0 0.00	0.1% 削減 1,977.0 0.09	評価 ×
軽油消費量削減 単位:リットル (原単位)	70,697.6 3.14	0.1% 削減 70,626.9 3.00	0.2% 削減 70,556.2 3.00	0.3% 削減 70,485.5 3.00	0.1% 削減 83,899.0 3.72	評価 ×
LPG消費量削減 単位:m³ (原単位)	15.8 0.00070	0.1% 削減 15.8 0.00067	0.2% 削減 15.8 0.00067	0.3% 削減 15.8 0.00067	0.1% 削減 20.0 0.00089	評価 ×
廃棄物削減 単位:Kg (原単位)	760.0 0.0337	0.1% 削減 759.2 0.0323	0.2% 削減 758.5 0.0323	0.3% 削減 757.7 0.0322	0.1% 削減 1,600.0 0.0710	評価 ×
水道使用量削減 単位:m³ (原単位)	294.0 0.0130	0.1% 削減 293.7 0.0125	0.2% 削減 293.4 0.0125	0.3% 削減 293.1 0.0125	0.1% 削減 391.0 0.0173	評価 ×
グリーン購入推進	0 0.00	0.1% 増加 0.000 0.00000	0.2% 増加 0.000 0.00000	0.3% 増加 0.000 0.00000	0.1% 増加 12.0 0.00	評価 ○

(原単位=使用量/年間処理量) 2011年度 23,508 トン 2015年度 22,545 トン

\* 平成19年度に東京電力から提出された資料に基づき、確認しました0.425にて算定

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10574>

総評

\* 電気、KG-CO2については去年同様営業所内での節電意識により目標達成する事が出来た。

ただ去年と比べるとどちらも数値が上がっていた、理由としてはベテランの退職により新人採用教育の為作業効率が悪化したと思われる。

それにより車・重機の燃料が上がってしまった。また、効率の悪い回収先なども増えた事も原因ではないかと考えられる。

各担当者と解決策を話し合う予定である。

\* 水道使用量は目標達成はできなかったが去年よりは使用量が減っている、来年度も引き続き節水を意識していく。

## 中期環境目標 実績と評価

全社

期間(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

環境目標	基準年度:2011年度 (2011年3月～2012年2月)	目標(対基準年):毎年0.3%ずつ削減			実績	
		2015年度 (2015年3月～2016年2月)	2016年度 (2016年3月～2016年2月)	2017年度 (2017年3月～2018年2月)	2015年度 (2015年3月～2016年2月)	
Co2 削減 単位:Kg-Co2 (原単位)	533,337.3 11.67	0.1% 削減 532,804.0 11.66	0.2% 削減 532,270.7 11.65	0.3% 削減 531,737.3 11.63	0.1% 削減 569,455.0 12.50	評価 ×
電力消費量削減 単位:kWh (原単位)	543,078.0 11.88	0.1% 削減 542,534.9 11.87	0.2% 削減 541,991.8 11.86	0.3% 削減 541,448.8 11.85	0.1% 削減 492,822.0 10.82	評価 ○
ガソリン消費量削減 単位:リットル (原単位)	4,397.9 0.096	0.1% 削減 4,393.5 0.096	0.2% 削減 4,389.1 0.096	0.3% 削減 4,384.7 0.096	0.1% 削減 6,882.0 0.15	評価 ×
軽油消費量削減 単位:リットル (原単位)	108,876.5 2.38	0.1% 削減 108,767.6 2.38	0.2% 削減 108,658.7 2.38	0.3% 削減 108,549.9 2.38	0.1% 削減 125,433.0 2.75	評価 ×
LPG消費量削減 単位:m <sup>3</sup> (原単位)	2,140.8 0.047	0.1% 削減 2,138.7 0.047	0.2% 削減 2,136.5 0.047	0.3% 削減 2,134.4 0.047	0.1% 削減 4,901.0 0.1076	評価 ×
廃棄物削減 単位:Kg (原単位)	21,121.2 0.46	0.1% 削減 21,100.1 0.46	0.2% 削減 21,079.0 0.46	0.3% 削減 21,057.8 0.46	0.1% 削減 9,881.5 0.22	評価 ○
水道使用量削減 単位:m <sup>3</sup> (原単位)	698.0 0.0153	0.1% 削減 697.3 0.0153	0.2% 削減 696.6 0.0152	0.3% 削減 695.9 0.0152	0.1% 削減 934.0 0.0205	評価 ×
グリーン購入推進	0 0.00	0.1% 増加 0.000 0.00000	0.2% 増加 0.000 0.00000	0.3% 増加 0.000 0.00000	0.1% 増加 36.0 0.00	評価 ○

(原単位=使用量/年間処理量)      2011年度 45,703 トン      2015年度 45,545 トン

\* 平成19年度に東京電力から提出された資料に基づき、確認しました0.425にて算定

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10574>

総評

\* 全体的に目標の達成をすることができなかった。

理由としては人の入れ替わりによる新人教育、去年と比べ物の数量が増えそれによる車・重機・機械の稼働増。  
環境目標を次年度より2015年の実績に設定しリサイクル資源量増加を項目に加えCO2増加の対比とする。

#### 4. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

全社（本社・品川・横浜）		評価 2015年3月～2016年2月			
環境目標	取組事項	全社	本社	品川	横浜
1 Co2 排出量の削減					
①電力消費量削減	不要照明の消灯	○	○	○	○
	エアコンの温度管理	△	△	○	○
	プレス機の空運転時間削減	—	—	△	△
	プレス機の稼働モーター削減	—	—	△	△
②ガソリン・軽油消費量削減	車両点検整備の徹底	○	○	△	△
	エコドライブの徹底	△	△	△	△
	車両走行距離・時間の低減	—	△	△	○
	公共交通機関の利用	—	○	—	—
③LPG 消費量削減	車両点検整備の徹底	○	○	△	○
	エコドライブの徹底	—	○	△	△
2 廃棄物排出量の削減					
廃棄物排出量削減	廃棄物分別の徹底	○	○	○	○
	廃棄物量の計量実施	○	—	○	○
3 用水使用量の削減					
水道使用量削減	飛散防止散水量の管理	—	—	○	○
	事務所キッチンの節水	○	○	○	○
	トイレ手洗い時の節水	○	○	○	○
4 グリーン購入の推進	エコマーク製品の購入	×	×	×	×

※ 評価 ○：良好 △：不十分 ×：未実施 —：該当せず

#### 取組の結果の評価

Co2 削減については、車両台数の増加や引取による取引先の増加、取扱数量の増加により目標達成する事が出来なかった。

これは目標として掲げている環境目標が、実際の数量及び活動内容に伴わなかった為と推測される。

回収先や数量が増えた今、今回の結果を検討し、より具体的な環境目標の基準を作成し、来季より新たな目標に向け取り組んでいかなければと考えている。

各営業所の取組は2016年に入ってからより一層意識改革、業務改革が進み各所に良い影響がでているように感じている。

## 5. 次年度の取組

来年度に向けた取組としては、教育体制の整備、新人の訓練不足による業務の非効率化や残業の発生により、電気使用量・CO2発生量が大幅な増加の要因になったと考えられるので、各部門を統括する責任者を中心に、効率的な運営ができるよう話し合いの場を設け、意見を出し合い円滑に運営をする事で、より良い効率での運営を今後の目標としたい。

今期は出荷先の変更などで、禁忌品の混入によるベールの返品やクレームがあったので、構内だけではなく、営業所全体での品質管理、製品品質の向上が今後の課題である。

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法規制等の遵守状況を確認した結果、違反は無かった。

また関連機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も無かった。

## 7. 代表者によるコメント

ここ数年の取扱品目の増や営業の強化等の成果が表れ、今期は前期より取扱い数量を増加することができた。

近年の新聞や雑誌の発行部数の減少などの要因を考えると健闘したものと思われる。

ただ一取引先における古紙発生量の減少、段ボールの軽量化等による個別案件での回収数量は減ってきており、さらなる取引先の増加が必要と思われる。

また今後の人口減、景気の減衰による資源の減少が推測されるため、さらに取扱品目の多様化、営業の強化を打ち出して行く。

2015年の11月にはフィリピン支店を開設したので、今後、会社の更なる発展に尽くす所存である。

エコアクション21を実施するものとして、今回の成果は期待する成果では無く、実効性のある目標の見直しが必要と思われる。

また設備や車両の老朽化に伴い、エネルギー効率の悪化も一要因になっているものと思われるため、適宜設備の見直し、入れ替えを検討していきたい。

当認定制度は、CO2削減・エネルギーの効率的な消費に向けて、世界的な取り組みが更に加速していく中で、有効に活用することができれば大きな力となるものと思われることから今後の取り組みについて真摯に挑みたいと考えている。